



2021年(令和3年)5月号

中野区立江原小学校 学校便り

校長 根来 郁明 児童数512名

学校教育目標

自立し、共に生き、平和を求める子
『かしこく』『やさしく』『たくましく』

子どもたちに期待すること

校長 根来 郁明

1 「夢」の実現に向けて努力する

小学校は、将来の「夢」を実現するための基礎・基本を育む大切な場所です。夢の実現に向けて努力する子どもたちを応援するためには、質の高い授業を行い、子どもたち一人ひとりとしっかりと関わっていくことが大切です。

為せば成る 為さねば成らぬ何事も 成らぬは人の為さぬなりけり

(米沢藩 第9代藩主 上杉鷹山公の言葉からの引用)

夢に向かって努力し、その夢をかなえることができれば素晴らしいことですが、実際には難しいこともたくさんあります。大切なことは、夢は必ずかなうと信じて行動すること、夢をかなえようと努力することです。江原小学校の子どもたちには、自分の「夢」の実現に向かって、自分で限界を決めることなく、自分から諦めることなく、必ずやり遂げるという強い気持ちをもって、一歩ずつ努力を続ける子になってほしいと思います。

2 自分から先に「あいさつ」をする

㊦かるく ㊩つでも ㊫きに ㊭づけて。あいさつが大切なことは、誰もが知っています。

「あいさつ」は、人と人が仲良くなるきっかけになる言葉です。「はじめまして」「よろしく願いします」「お会いできてうれしいです」「ちょっとお話しませんか」等、いろいろなメッセージが込められた言葉だと思っています。

私は、毎朝、子どもたちに「今日も一日がんばろう」「今日も元気に学校に来たね」というメッセージを込めてあいさつをしています。だから、あいさつが返ってこない、自分の存在が無視されたようで、悲しい気持ちになります。反対に、先にあいさつをされると自分の存在が認められたようで、うれしい気持ちになります。「今日も元気に来たよ」「今日もがんばるよ」という声が聞こえてくる気がします。正門で会ったとき、廊下や階段ですれ違ったとき、自分から先にあいさつをしてくれる人が増えてきたので、とてもうれしいです。相手の存在を認め、自分から先に「あいさつ」をする子になってほしいと思います。

4月25日、東京都に三度目の緊急事態宣言が発令されました。新型コロナウイルス感染症の変異株による感染の割合が急速に増えていることを踏まえ、江原小学校では、マスクの着用、手洗いによる手指の衛生等、これまで以上に感染症対策を徹底していきます。子どもたちの「学びを止めない」ためにも、実施可能な工夫を行った上で教育活動を進めていきたいと考えています。

東京都や中野区の感染状況から考えると、感染症対策を徹底したとしても新型コロナウイルス感染症の感染リスクをゼロにすることは不可能です。感染症リスクを少しでも減らすためには、毎日の健康観察、家族に発熱や咳等の症状がある場合は登校を控える、不要不急の外出きんを控える等、「校内にウイルスを持ち込まない」ことが基本になります。各家庭でのご協力をお願いいたします。